

評価対象1:授業中の態度		評価対象2:授業で作成された成果物			
本カリキュラムでの定義	評価項目1	評価項目2	評価項目3	評価項目4	評価項目2-4統合
	課題達成に向けての積極的な態度	より根源的な課題の発見	問題解決案の完成度	成果物の独創的な視点	課題達成からみた成果物の完成度
	よりレベルの高い課題達成に向けて、多く試行錯誤をしたり、周囲に方法の質問、完成度の確認を行う。	課題と、課題達成に必要な要素や設定の特性を正しく理解している。その上で課題達成のために選択された要素、設定が課題達成の視点から対応している。	課題達成のために選択された要素や設定に統一感がある。ステップごとに各単元の目標を達成している。	完成の有無、課題達成にむけての論理性に関わらず、独自性の高い視点で作成されている。	より高い水準で課題が達成されている。成果物は、偶然ではなく課題に対する深い理解のもと、独自の視点から作成されている。
S 期待以上	課題の趣旨を理解したうえで、独自性や差別性のある難易度の高い課題の設定と作品づくりを行う。試行錯誤を積極的に行い、率先して周囲と連携しながら課題に取り組んでいる。	課題や作品を構成する要素に対する理解が深い。作品の構成要素や設定が課題に対応しているだけではなく、その人らしさや、独自性、希少性が見られる。どうしてそれを選択、設定したのかにも納得できるものが選ばれている。	課題に対応した作品づくりが行われている。つくられた作品、要素の構成には統一感があり、かつ他の人とは違う希少性や意外性といった、高度な組み合わせやアレンジがなされている。	設定した課題、作品づくりで選択された要素や設定に意外性や独自性が強く感じられる。その上で、作品は課題に対応しており、独自の視点で作られている。クラス内で比肩するような作品は見当たらない。	つくられた作品は、設定した課題に強く即している。課題や作品づくりで選択された要素や設定は独自性や意外性があり、にもかかわらず強い統一感、説得力がある。クラス内で比肩するような作品が見当たらない。
A 十分満足 できる	課題の趣旨を理解したうえで、ふさわしい課題を設定し、それにあった作品づくりを行う。試行錯誤を積極的に行い、率先して周囲と連携しながら課題に取り組んでいる。	課題や作品を構成する要素に対する理解が深い。作品の構成要素や設定が、課題に対応している。独自性はあまりないが、選択基準が明確で、統一感がある。	課題に対応した作品づくりが行われている。つくられた作品、要素の構成には統一感があるが、クラス内で比肩するものがないほどの独自性のある組み合わせやアレンジはなされていない。	設定した課題、作品づくりで選択された要素や設定に意外性や独自性が感じられるものが多い。もしくは意外性や独自性を強く感じる一要素がある。作品は課題に対応しており完成度が高く、独自の視点で作られている。	つくられた作品は、設定した課題に即している。課題や作品づくりで選択された要素や設定には統一感、説得力がある。また、その人らしさといった独自性や意外性は見られるもの、クラス内で類似した作品も散見される。
B 概ね満足 できる	課題の趣旨を理解したうえで、ふさわしい課題を設定し、それにあった作品づくりを行うものの、積極的ではない。授業の流れに沿って操作しているが、試行錯誤や改善に対する意識が薄く、周囲と連携する意欲的な態度が見られない。	課題や作品を構成する要素に対する理解が十分ではないため、選択された構成要素や設定が課題とあまり対応しておらず、選択した必然性や妥当性といった説得力が感じられないものが多い。	課題にある程度、即した作品づくりが行われている。つくられた作品、要素の構成には統一感の観点から一部そぐわないものも見られる、または統一感はあるが、ありきたりなものでまとまっている。	設定した課題や、作品づくりで選択された要素や設定に意外性や独自性が感じられるものがある。作品は課題に対応していないところもあるが、独自の視点で作ろうとする形跡が見られる。	つくられた作品は、課題との対応、選択された要素間の統一感、いずれかが欠けている。作品は完成したものの、独自性や、その人らしさはあまり感じられない。
C 努力を要する	課題の趣旨を理解していない、または理解する意欲がない。操作面で不明な点があっても積極的に質問せず、周囲のサポートに依存している。	課題や作品を構成する要素に対する理解がないため、選択された構成要素、設定において場当たりの対応が多く、選択した必然性や妥当性といった説得力がほとんど感じられない。	課題に即した作品づくりがおこなわれていない。選択されたものへのこだわりを感じるものもあるが、組み合わせや統一感を出すという観点が見られない。	設定した課題や、作品づくりで選択された要素に意外性や独自性が感じられず、作成例や周囲のサポートに依存した作品になっている。	作品は完成したものの、つくられた作品は、課題との対応は低い。また選択された要素間の統一感に欠ける。作品づくりは受け身的で指導者や周囲の促しで作られた作品以上にはなっていない。

※授業内容にあわせて、評価対象1/2をいずれかを選択。個々の対応は指導案を参照。

※評価対象2は、授業の目的等に応じ、評価項目2・3・4を統合した総合的な視点で評価することも可能。